

# メキシコの政策金利引き上げについて

## ポイント① 政策金利を5.75%に引き上げ

12月15日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レート（OFR）を0.50%引き上げ、年率5.75%とすることを決定しました。

利上げは今年に入って5回目となります。市場予想では0.25%の利上げがコンセンサスであったため、0.50%の利上げは、市場で驚きを持って受け止められました。

## ポイント② インフレ見通しの悪化に対応

今回の決定には、米大統領選挙でのトランプ氏の勝利などを受けたメキシコペソの急落が、インフレ率の上昇につながるのを緩和する狙いがあります。

同中銀は声明で、トランプ次期大統領による米国の今後の政策を受けたメキシコ経済の不透明感の高まりについて言及しており、米国がメキシコとの関係悪化につながる政策を採用するリスクが高まったとの見方を示しています。

また、11月のインフレ率は+3.3%と、約2年ぶりの高い水準となり、同中銀の目標とする3%を上回って推移しています。今後の見通しについて同中銀は、2017年末までにインフレ率が目標レンジの上限である4%に近い水準に上昇する可能性がある一方で、2018年には低下し始めると予想しています。

このような状況のもと、同中銀はインフレ圧力に対応することに加え、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げを考慮し、今回の利上げを決定したと説明しています。

## ポイント③ 利上げ幅が市場予想を上回りペソ高

12月15日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、利上げ幅が市場予想を上回ったことなどを受け、対米ドルで前日比0.7%、対円で同1.7%程度のメキシコペソ高となりました。

今後の金融政策について同中銀は、インフレ率に影響を与える要因や、インフレ見通し、米国の金融政策の動向などを引き続き注視すると説明しており、一部の市場参加者は追加利上げを予想しています。

重要  
イベント

2017年1月7-11日	消費者物価指数(12月)
1月10-12日	鉱工業生産指数(11月)
2月9日	金融政策発表

図1：政策金利の推移

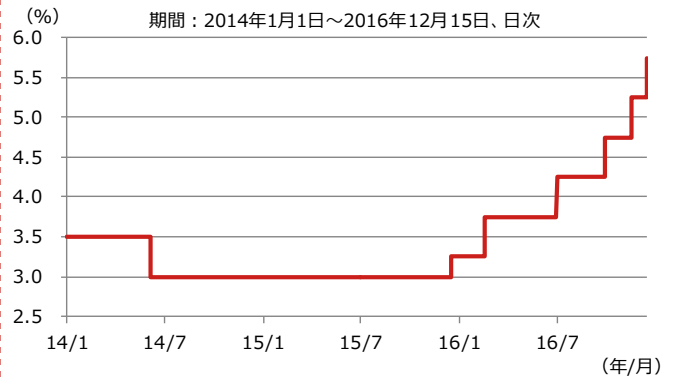


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

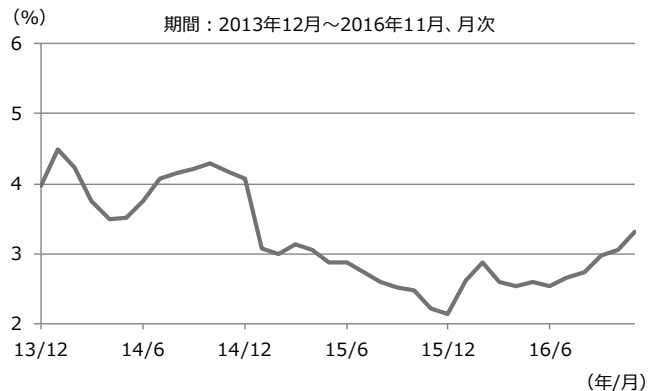
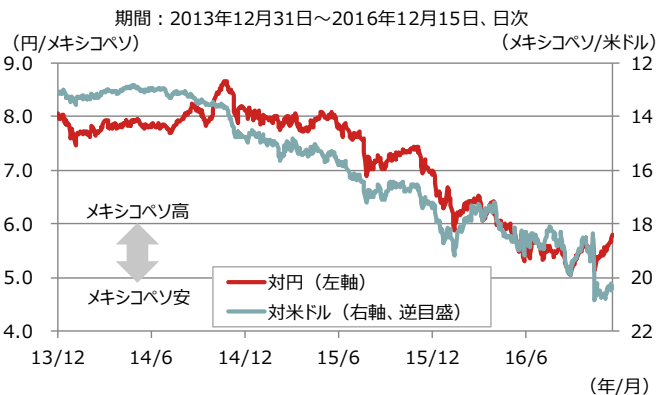


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。